

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## マラヤン・バンキング・ベルハッド（証券コード：－）

### 【据置】

外貨建長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

### ■格付事由

- (1) 連結総資産 7,653 億リンギット（17/12 期末、約 20 兆円）を有するマレーシア最大の銀行。子会社を通じて保険や証券などの非銀行業務も手掛けており、ASEAN 地域を中心に幅広く事業を展開している。格付は、マレーシア国内の堅固な事業基盤、収益源の分散と高い収益力、良好な流動性ポジション、高い資本水準を反映している。一方、所在国の金融経済情勢や規制環境の影響を受けやすい銀行業の特性を反映し、格付はマレーシアのソブリン格付（外貨建長期発行体格付：A/安定的）の制約を受けている。ASEAN 経済は好調な成長を続けており、銀行を取り巻く事業環境は総じて安定している。資源・コモディティセクター向けの与信の劣化も緩和されてきた。マクロ環境の変化に伴う影響には一定の注意が必要だが、堅固な事業基盤や高い収益力を背景に、安定した最終利益と健全な資本水準を維持すると JCR はみている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (2) 国内では個人、中堅・中小企業から大企業にわたる幅広い顧客基盤を有し、堅固な銀行業務の基盤を築いている。預貸シェアは 20%程度。傘下に国内最大のイスラム銀行も擁しており、市場が拡大する個人向けのイスラム金融で優位性を確保している。保険やスクークの引受といった証券の分野でも高いプレゼンスを有する。海外ネットワークも充実しており、中でも外資系大手適格フルバンクとして事業基盤を確立しているシンガポールは、貸出の 25%を占める重要な収益源である。インドネシアでは比較的規模の大きい地場銀行を子会社に持つ。11 年の Kim Eng の買収により海外の証券・投資銀行業務も拡充された。17 年にインドネシアの保険会社に対する 75%持分を取得するなど、近年は海外保険事業の強化を図っている。ASEAN 地域の旺盛な資金需要を取り込めるポジションにあり、事業ボリュームはリテールビジネスを中心に拡大していくことが期待される。
- (3) 国内外いずれも調達・貸出両面の競争が激しいが、貸出残高の伸びや低コスト預金の拡充などにより、トップライン収益は純金利収入を中心に拡大基調で推移している。部門別では主力のリテールバンキング部門の収益が堅調であるほか、保険部門の寄与も徐々に高まっている。引当前利益ベースの ROA などでもみた基礎的な収益力は引き続き高く、収益による与信費用などの損失吸収力は大きい。
- (4) 近年は海外の法人貸出を中心に資産の質が悪化傾向にあったが、不良債権増加の主因となっていた石油・ガスセクター向け与信の劣化はほぼ一巡したとみられる。不良債権比率はシンガポールの Hyflux グループに対する債権を減損債権に区分した影響で 18 年 6 月末に 2.64%（17 年末：2.34%）へ上昇しているものの、個別先要因を除けば不良債権の発生は落ち着いてきている。なお、Hyflux グループに対する当行の債権は、融資対象プロジェクトの資産によって全額が担保保全されている。与信費用比率も 18/12 期上半期には 40～45bp 程度（年率換算）と 16/12 期の 60bp 超から低下している。保守的なリスク管理や国や産業の観点でみた与信ポートフォリオの分散状況を踏まえると、与信費用は先行きも管理可能な範囲で推移する可能性が高い。
- (5) 18 年 6 月末のグループ連結普通株式等 Tier1 比率は 13%台と格付対比で高い水準にある。内部留保の着実な蓄積やリスクアセットのコントロールにより、今後も健全な資本水準が維持されるとみている。預貸率はグループベースで 90%台で推移している。主要な海外拠点で預金が潤沢に確保されており、外貨についても流動性のバランスは良好である。

（担当）増田 篤・佐伯 春奈

## ■ 格付対象

発行体：マラヤン・バンキング・ベルハッド (Malayan Banking Berhad)

## 【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回円貨社債 (2015)	128 億円	2015 年 4 月 30 日	2020 年 4 月 30 日	0.509%	A

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018 年 9 月 12 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤  
主任格付アナリスト：増田 篤
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「銀行等」(2014 年 5 月 8 日) として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) マラヤン・バンキング・ベルハッド (Malayan Banking Berhad)
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル